

# 作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市塙田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



創立123周年記念文化祭 [平成20年9月26日金～27日土]



## 同窓会の皆さんへ



「一校一家」の建学の精神で  
成果を挙げていこう。

会長 大渕 皓之  
(高10回卒)

同窓会のみなさん、お元気ですか、みなさんには日頃より何かとお力添えをいただき、また同窓会の運営につきましてはいろいろとご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

米国の住宅バブル崩壊、サブプライムローンによる米国経済の混乱は、いまや世界的な金融、経済危機にと発展し、市場の動搖は収まる気配も見せず、世界同時不況の懸念も広がっています。日本経済も不況の中にあり、特に中小企業においては一部の企業をのぞいてひどい状態です。

孟子は「天の時は、地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」と言っています。天の時とは絶好のチャンス、地の利とは有利な環境です。このふたつに恵まれて行動を起こせば成功する確率はきわめて高いが、せっかくの好条件も、人の和が乱れては生かすことが

できない。何よりも大きいのはチームワークです。

天の時はめぐってくるのをじっと待つしかない、地の利も周りとのかねあいがあり、必ずしも自分の思いどおりにはならない、だが、人の和は自分たち次第、同窓会の固い結束が大きな力を発揮するでしょう。

このような時に、まさに作新学院の建学の精神である「一校一家」の精神が発揮されます。「一校一家」とは作新学院に関係するみなさんや同窓生などが、あたかも大きな家族であるように、お互いに助け合い励まし合いながら成果を挙げていこうということです。

同窓生のみなさん、このような時だからこそ、同窓会の組織を強化し拡大して、お互いに情報を交わしつつ、助け合い、がんばって行きましょう。

今後のみなさんの益々のご活躍と、ご健勝をお祈り申し上げます。



## 新年に誓う

作新学院 院長 船 田 元

明けましておめでとうございます。作新学院同窓会の皆さんには穏やかな新年をお迎えになられたことと存じます。

新年早々で恐縮ですが、昨年9月には名誉学院長・船田昌子を失いました。その際は皆さんにあたたかいご配慮をいただきましたが、私たちは悲しみを乗り越えて、作新学院は力強く前進を続けていることをご報告いたします。

ところでサブプライムローンにはじまるアメリカ発の金融危機が、世界中の金融システムを混乱に陥れ、日本の実体経済にも深刻な影響を与えてはじめています。機軸通貨であるドルに過度の信頼を置いて、信用拡大をほしいままにしていたツケがまわってきたのだと思います。規制緩和一辺倒のアメリカンスタンダードも通用しなくなってしまった。

そのドルに代わって、円が世界の機軸通貨になることは無理としても、日本が金融システム再構築の一端を担う責任があるのではないかでしょうか。またそれができる能力をわが国は持ち合わせているはずです。私たち日本人は自信を取り戻さなければなりません。日本の底力を発揮しなければなりません。

わたしたち作新学院の教育は、そのような底力を発揮する人材をこれまでにも数多く輩出してきましたし、これからもそうあらねばならないと思います。その際われわれが重視す

る点は、自分の頭でものを考え、自分で行動する人材をつくることです。

OECD（経済協力開発機構）という先進国でつくる国際機関は、参加国のPISA（学習到達度）調査を3年ごとに行っています。それによると日本の子どもたちは、基礎学力ではまだトップクラスですが、応用力の点では順位を大きく下げているとの結果が出てしまいました。

いまのような乱世においては、優等生はあまり役立たないと思います。むしろ型破りで、未知の分野にどんどん進んでいく勇気や、一見できそうもないことをあきらめずに、何度も挑戦する不屈の精神を持った人材が求められます。本学院の卒業生で慶應大学環境情報学部、そして大学院に進み、振動を電気に変えるというユニークな研究を続け、学生時代からベンチャー企業を立ち上げた速水浩平君などは、その好例ではないでしょうか。

わたしたちは昨年から「作新力プロジェクト」を立ち上げ、このような「人間力」を持った人材を創り出そうと力を尽くしています。そのためには教育環境の整備もさることながら、教員の資質向上がもっと大事なことです。このようなわたしたちの活動に対して、どうか今年も同窓会の皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。



## ごあいさつ

作新学院 院長代理 船 田 恵

新年明けましておめでとうございます。日頃は、作新学院の活動に温かなご理解と厚いご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

お蔭様で当学院も、卒業生約15万人の方たちをこれまで世に送り出し、昨年無事に創立123年を迎えることができました。

ただ社会は、サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融システムの瓦解を受け未曾有の大不況に見舞われており、その影響は教育現場にも容赦なく押し寄せています。

しかし、このような歴史的危機に直面している今だからこそ、大局を見据え、子どもたちの未来のため、この国・この地球の将来のため、本当に必要で重要なことに対し、愚直に力を傾注すべきではないかと考えます。つまり、株価や偏差値などといった目先の数値の多寡ではなく、「人間形成」や「もの作り」、あるいは「地球環境保護」といった地に足の着いた物事に、時間とお金と労力をかけるべき時が来た

のだと思います。

これから難局を乗り越えてゆくためには、問題解決に向けて自分の頭で考え、自分の心で感じ、自分の手足をフルに使って活動できる人材が必要です。受験術には長けていても、他者や社会のことを思いやるコミュニケーション力が欠落していれば、世の中に出で役立ちようがありません。

作新学院は、その「作新」という校名に先人が込めた“志”をまとうすべく、これまで一貫して、日々変化してゆく世の中を新たに切り拓いてゆける人材を育成し輩出することに、全力を注いで参りました。総合的な「人間力」が問われるこの世の中こそ、作新での教育が世に活かされる好機であると私は大いに期待しております。

どうか今後とも変わらぬご支援を賜れますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈りいたしております。

### 学院近景





## 日々新しき学院の姿を

作新学院高等学校 校長 佐藤孝明

同窓の皆様に学院の平成20年度の主な行事を報告いたします。

創立123周年記念行事として行われた漫画家の里中満智子先生の講演・里中・院長代理両先生によるトークセッションは、22年度から情報科学部の美術デザイン科に「マンガ・アニメ・映像コース」の新設、情報科学部の普通科総合選択コース・総合進学部で学校設定科目として開設する「アニメ教養」等に対する先行の学習の機会でもありました。

また、「作新力開発プロジェクト」(作新学院

が有するあらゆる「力を」発掘・開拓し、増進し、さらに内外に広く知らしめていくための総合プロジェクト)を立ち上げました。活動のスタートとして、2年後の創立125周年までに「ペットボトルキャップ125万個を集めよう」を合言葉に、幼稚園から大学まで、学園に関係する者全員が参加するエコ活動です。(正門守衛所横にキャップ収容の容器設置 11月17日 現在233,200個回収 ワクチン279人分)

同窓の皆様、時に母校を訪れ、日々に新たな学院の姿をご覧ください。



### 新任 ごあいさつ

作新学院高等学校 英進部部長

國井 久

同窓会員の皆様、明けましておめでとうございます。昨年の4月から英進部長を仰せつかっております。現在微力ながら、先生方のご支援、ご協力を得て、英進部のさらなる発展のために努めているところです。幸いなことに、生徒諸君は優秀なだけでなく大変素直ですし、部の進学実績も年々上昇している状況にあり、期待が膨らんでいます。

来年度へ向けて、現在のコース制を少し変え、トップ選抜クラス、英進選抜クラス、英進クラス、中高一貫クラスの4種類のクラス分けを行うこととしております。それぞれのクラスは成績と希望により学年進行時に入れ替えます。それにより、生徒間の切磋琢磨する気持を高め、生徒自身の夢や自己実現に繋げようとするものです。

いずれにしましても、何より大切なのは、日々の授業における取り組みです。英進部教員一同も互いに高めあいながら、意欲的により良き授業を目指して努力していますので、今後ともご支援のほどお願い申し上げます。



### 新任 ごあいさつ

作新学院高等学校 総合進学部部長

山田 一雄

平成20年4月より、総合進学部の部長を拝命いたしました山田でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

今や学校、とりわけ私立学校をとりまく環境や教育条件は大きく変化し、目標の達成に難しい舵取りが求められる時代となりました。そんな中で、創立123年の教育活動の歴史と成果を受け継ぎ、さらにそれを発展させるためには、揺るがぬ教育理念の確立と弛まぬ教育実践力が必要だと考えます。そこでその教育理念の柱のひとつに、私は「自己実現」の達成を掲げたいと思います。学院に関わりを持つすべての人々が希望に向かって活動し、幸せな時間を共有することを目標として手を携えてゆこうというものです。

この大目標の実現には、まずそれを達成しようという熱意と、不斷の努力、さらにその成果が成員ひとりひとりに還元されるというサイクルを成立させねばなりません。皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

# 船田昌子学院名誉院長逝く。

平成二十年九月二十六日、船田昌子作新学院名誉院長が七十九歳の生涯を終えました。平成元年の冬に脳出血で倒れてから二十年にわたり、車椅子での生活を強いられていました。作新学院長の仕事を立派にこなし、命のエネルギーをすべて使い果たし、私たちの前から旅立つていきました。

故人は作新学院に多くのものを残してくれました。まず一つは英進部の開設と中等部の充実、次に「面倒見のいい学校」づくりです。それまで「A(ダッシュ)クラス」として細々とやつてきた進学指導を、英進部として飛躍的に充実させ、高校教育のメインに押し上げました。また中等部との連携を密にし、栃木県初の本格的な中高一貫教育を実現させました。もう一つの



「面倒見」ですが、これは作新の校風である「一校一家」の精神に裏付けられたものであり、「生徒を追いかけてでも面倒を見るのが作新の良さだ」と実践するものでした。「問題行動」を起こしてしまった生徒に、事細かに担任教員に指示するなど、いつも子どもたちに気を配っていました。子どもたちを信じ、手をかけければ必ず立ち直るはずという、前向きな精神がここでも生きていました。

十月十八日作新学院一の沢キャンパスにおいて学校葬が執り行われました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。合掌。

## 学院近景



# 平成20年度 同窓会定時総会

同窓会総務企画部 部会長 坂本 功樹

作新学院高等学校同窓会においては、日本一多い同窓生を誇りに平成20年6月20日午後6時から、宇都宮市戸祭元町の「アピア」において、船田 元院長（衆議院議員）佐藤孝明校長、英進部、総合進学部、情報科学部の各部長らを来賓に迎え、同窓会員150名が参加し定時総会を開催致しました。

今年度は特に、大渕皓之同窓会会长の方針により作新学院全体の同窓会の連携を図るため、作新学院大学・作新学院女子短期大学・作新学院中等部の各同窓会会长さんをご招待し全体の定時総会の盛り上がりを図ることと致しました。

当日の定時総会は、三村松司副会長（商3回卒）の開会挨拶で幕を開け、今年度はCDにての作新学院歌を出席者全員で斉唱後、物故者に対し黙祷を捧げました。そして、大渕皓之会長（高10回卒）が「偉大な先輩達が築きそして躍進を続ける作新学院を、これからも学校と一体となって発展をさせることが、同窓会の強化にもつながることになるので、皆様と共に頑張りましょう」などと挨拶。

続いて、公務ご多用の折にもかかわらずご出席頂き



ました船田 元院長が「同窓会員の皆様のご協力のおかげで、現在の作新学院があります。今後とも、同窓会の皆様が一致団結して、作新学院を支えて頂ければありがたい」とご挨拶をいただきました。

この後、仲田陽介（英進5回卒）と、角田光良（高45回卒）を議長団に選出し議事に入り、事務局および総務企画部会、組織財政部会、広報部会、文化厚生部から提出された19年度の決算・会計報告、20年度の予算・事業計画などについて審議し、満場一致で承認されました。また、今年度は役員改選に当たるため、事前に役員選考委員会（安藤寛樹選考委員長）を設置し、

審議を重ねてきた経緯を安藤寛樹選考委員長が報告、その後出席者全員により満場一致で、大渕皓之会長のほか、副会長、監事らの新執行役員の人事も承認されました。後日、幹事長・事務局長・各部会の正・副部会長の人事も決まりました。

総会終了後、別室で懇親会を開催し、和田藤吾元会長の乾杯の音頭のあと、各テーブルに用意されたお酒や料理をいただきながら、久しぶりに出会った先生や級友達の、和やかな歓談に入りました。そこで前年に続きハワイアンバンドの演奏により、しばらくの間、懐かしい音楽に聞き入りながら、参加者皆様の弾んだ声が飛び交っていました。



## 学院近景



# 昨年度卒業生の進路状況

～東北大学(医)・大阪大学・北海道大学などの難関国立大学に多数合格～

平成19年度、卒業生は1,375人であった。進路の内訳は、4年制大学に609人、短期大学に76人、専門学校(予備校を含む)に371人が進学し、就職・その他は319人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は76.8%、就職・その他は23.2%であった。

大学進学で特筆すべきは、旧帝大である東北大学の医学部医学科に合格したことである。近年は学力上位層も増加し、県立進学校に比べても決して見劣りしない進学実績を収めている。各部とともに生徒の進学意識を高めるため、積極的に「学習合宿」や大学の教職員を招いての「進学相談会」および「出張講義」を企画・実施した。これらの指導が結果として進学実績に表れはじめ、年々国公立大学および難関私立大学への合格者が増加している。平成19年度は国公立大学に65人、防衛大学校などの国立大学校に6人、私立4年制大学に1,082人、短期大学に90人が合格した。主な合格大学は、大阪大学・東北大学・北海道大学・お茶の水女子大学・横浜国立大学・千葉大学・首都大学東京などの国公立大学、また私立大学では早稲田大学・国際基督教大学・東京理科大学・立教大学・明治大学・中央大学などである。さらに、医歯薬系大学には、医学部医学科7人・歯学部21人・薬学部43人と70人以上の合格者が出了。このような進学実績を多くの大学から評価いただき、平成20年度には208大学から1,100人を超える指定校を受けている。

専門学校の進学については、社会の情勢そして流行などが大きく影響しているようだ。平成19年度卒業生の特色としては、県内専門学校への進学者が県外専門学校進学者のおよそ1.5倍、つまり「県内志向型」であったといえる。分野別にみていくと、ゲーム・アニメ・マンガなどの趣味的要素の強い分野に人が集まった。夢を具現化するには困難な分野かもしれないが、スペシャリストを目指してもらいたいと思う。逆に、幼児・保育・看護・福祉などの教育や人命にかかわる職業などの"きつい"といわれる職業への分野の人気が乏しかった。

就職状況に触れてみたい。厚生労働省によると「昨年、一昨年に比べ伸び率は緩やかだが企業の採用意欲は依然旺盛であり、団塊世代の大量退職と景気回復が重なって就職状況が好転した」と分析している。栃木県の求人倍率は1.64倍であり、本校への求人募集企業数は795社(昨年789社)である。業種別では、製造業、医療・福祉関係、サービス業が増加し、金融・保険業、飲食・宿泊業、卸・小売業が減少傾向にある。販売や事務関係の仕事は例年通り、大学生にシフトを変えた企業が多く、求人減である。

平成19年度 卒業生進路一覧

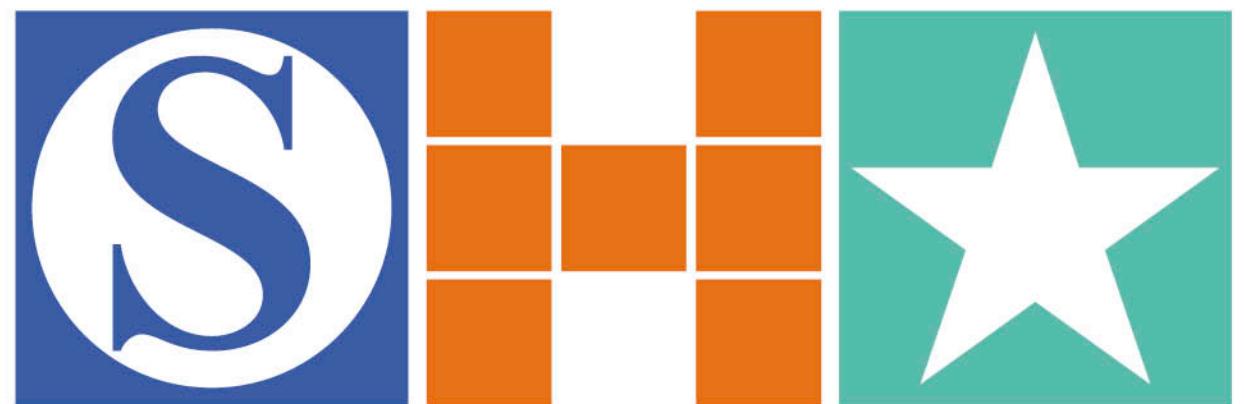
進路 部・学科	卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (含む予備校)	就職・自営
英進部	390	310	767	19	59	2
大 学 進 学 系 列 (特進選抜コース)	61	38	90	0	22	1
大 学 進 学 系 列	308	177	207	39	71	21
総合進学部						
専 修 進 学 系 列	168	15	16	5	105	43
キャリア系 列	104	3	3	0	20	81
計	641	233	316	44	218	146
ビジネスサイエンス科	43	7	7	1	5	30
コンピュータサイエンス科	77	20	20	1	20	36
情報科学部						
電気・電子システム科	86	17	17	0	15	54
美術デザイン科	66	20	24	1	35	10
ライフケインズ科	72	2	2	10	19	41
計	344	66	70	13	94	171
合 計	1,357	609	1,153	76	371	319

就職指導委員会では、キャリア教育に力を入れ、1年次からインターンシップを導入。その結果200社を超す県内事業所から受け入れの協力を得て、430人の生徒が実習体験をすることができた。また、商工会議所主催の「サポートガイダンス」「企業見学会」等へ積極的に参加させるとともに、学内では学年別「進路ガイダンス」「就職講話」等を実施し、幅広い知識の吸収と職業意識の向上、職業理解の指導に努めた。

就職指導委員会は、県内の就職情報交換会や各種研修会に積極的に参加し、資料収集と状況分析、独自の求人開拓をおこなった。その指導と早期対策が功を奏し、就職希望者281人全員が就職を果たしたことは喜ばしい限りである。

## 学院近景





# 「作新力」プロジェクト

「作新力」で、環境をまもり、未来をつくろう。

創立123年という歴史と伝統に加え、卒業生約15万人というスケールと多様性に支えられてきた作新学院——私たちは、地元から全国、そして世界にまで広がるその「作新力」を結集して、地球環境を守り、子どもたちの未来を創造してゆくための様々なアクションを、「作新力プロジェクト」と題して平成20年度から隨時展開してゆきます。

作新学院の「作新」は中国の古典『大学』の一節に由来し、そこには、日々新しく変化してゆく社会に対応して、世の中を変化させ、作り上げてゆける人材を育成し輩出せよという先人の思いが込められています。

私たちはこうした建学の精神を現代に引き継ぐため、6,500人余の在校生や教職員はもとより、そのご家族、15万人を超える卒業生、そして作新を支え育ててくださった地元の方々など、作新に係るすべての人々の力と知恵を結集して、この地球と子どもたちのために、一步を踏み出します。

作新の最初の一歩は、とても小さなものかも知れません。けれど一人ひとりの思いと行動が積み重なってゆ

**(株)安藤設計** (一級建築士事務所)  
http://www3.ocn.ne.jp/~andoarc/  
代表取締役 安藤英夫(昭和43年卒)  
専務取締役 安藤寛樹(昭和45年卒)  
宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

**花と園芸**  
**(株)藤野グリーンセンター**  
代表取締役 藤野善勝(昭和35年卒)  
宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

**作新学院 親交会**  
会長 荒井祥  
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

**(有)朋友塗装工業** (建築・塗装・吹付工事)  
代表取締役 小野朋之(昭和61年卒)  
宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082  
FAX 028-639-7220

けば、それはやがて必ず大きな“力”となって世の中を変えてゆけると、私たちは信じています。  
行動しなければ何も始まりません。皆さんも一緒に、身近にできる事からはじめてみませんか。

**ペットボトルキャップ**は、通常ゴミとして焼却されると800個で6.3gの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が発生しますが、リサイクルすると800個で20円となり、その20円でポリオワクチン1人分が購入でき世界中の発展途上国の子どもたちの命を救えます。つまり、“ペットボトルキャップ回収”は、地球環境を守るために二酸化炭素削減と、国際貢献につながります。

「作新力」プロジェクト第1弾として創立125周年に向けて125万個を目標とし、11月17日現在では、約22万個が集まり二酸化炭素1,750kg削減と279本のポリオワクチンとなっています。回収ボックスは一の沢キャンパス正門の守衛所脇に設置しており、誰でも入れることができます。あなたの行動が合わされば大きな力となります。多くの皆様のご協力をお願いいたします。

「作新力」プロジェクトチーム

## 創立123周年記念事業 「マンガ家里中満智子先生」講演について



作新学院創立123周年記念式

平成21年4月から高等学校の総合進学部では、学校設定科目「マンガ・アニメーション教養」、情報科学部美術デザイン科では「マンガ・アニメ・映像コース」、さらに、普通科総合選択コースでは学校設定科目「マンガ基礎」「アニメーション基礎」が新設されます。その授業目標やカリキュラムの作成・監修に、日本を代表するマンガ家の里中満智子先生を特別顧問に迎えてスタートいたします。

そこで、「作新力」プロジェクト第2弾として、創立123周年記念講演会を開催し里中先生にご講演をいただきました。当日は、中等部の2・3年生と高等学校

の1年生を合わせて1,700人と、保護者と一般者を合わせて約200名が記念式典終了後の総合体育館にて、それ以外の生徒達は各教室のテレビ中継で聽講しました。

第1部は「マンガと教育」と題した基調講演。続く第2部では船田恵院長代理と一緒に「マンガ・アニメが拓く教育の可能性」と題したトークセッションが行われ、「世界一と言われる日本のマンガ・アニメの技術力や表現力、これまでの日本経済に深く寄与してきたこと。また、これからはイメージの時代であり、難しい事もマンガであれば簡単でわかり易く教えることができ、しかも多角的な見方が身につく」と講演されました。



**(有)川口写真館**  
代表取締役 川口修一(昭和44年卒)  
宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

**仲田総業株式会社**  
http://www.nakada.tv  
専務取締役 仲田陽介(平成3年卒)  
宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151



# 今年成人を迎える卒業生 ご成人おめでとうございます。

英進部

社会に役に立つ人間に。ご成人おめでとうございます。

成人式を迎えた皆様に、心よりお祝い申し上げます。

卒業間際に「未履修」問題で揺れた学年でしたが、皆様が卒業されてからもう2年が経とうとしています。これから、皆様自身にはもちろん、社会でも、世界的な規模で大きな変化が起こるものと思います。そのような時に、心の拠り所になるのが、「高校時代」だと思います。どうぞ作新時代の仲間や「誠実・勤労」の精神を支えに、どんなことであっても、社会に役に立つ人間となるよう頑張ってください。そして、これからも、母校・作新学院を、皆様の再会、再出発の拠点としていてください。

一人ひとりの顔を思い浮かべながら、皆様のご健康とご多幸を心から祈っております。

平成18年度英進部 第3学年主任 長谷川 滋



平成18年度卒業時の3学年担任の先生方

株式会社 寿屋（設備機販売施工）  
ライフア宇都宮東（INAXリフォーム）  
代表取締役 斎藤貞夫（昭和41年卒）  
宇都宮市瑞穂1-15-11 ☎028-656-6613

（有）坂本商店（業務用青果・漬物製造卸）  
代表取締役 坂本 昭（昭和31年卒）  
宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003  
FAX 028-632-9148

手塚・吉高神司法書士事務所  
司法書士 吉高神渡（昭和45年卒）  
宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

株式会社 落合東光園（造園・土木）  
代表取締役 落合功（昭和37年卒）  
上三川町川中子921 ☎0285-56-3751



平成18年度卒業時の3学年担任の先生方

## 今年成人を迎える卒業生 ご成人おめでとうございます。

総合進学部

成人式を迎えられました皆様には、心からお祝いを申し上げます。

皆さんは、歩む道はそれぞれ違っても、21世紀を担う頼もしい若人として、各方面から大きな期待が寄せられております。

総合進学部2回目生としての皆様と共に心弾ませ、何事も一緒に取り組みました。そして心身ともに成長し、本学院生活の成果をあげ立派な卒業生となりました。

これから成人として、全ての権利と義務、そして社会人としての責任を背負って社会に進出していくわけあります。その自覚の上に立って、今後ますます知性を磨き、心身を鍛錬し、しっかりととした自己を確立していただきたいと思います。

誠実に過した高校生活3年間、そして約10万人の同窓会員の存在を胸に、価値ある人生となりますことを心からお祈りいたします。

平成18年度総合進学部 第3学年主任 稲葉 宗孝  
第3学年主任 中原 隆美

### 伴印刷株式会社

<http://www.bannet.com/>

代表取締役 伴 清 (昭和35年卒)  
常務取締役 伴 誠 (昭和62年卒)  
宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901

### 「割烹弁当」の新三

<http://www.shinza.co.jp/>

代表取締役 鈴木 郁夫 (昭和24年卒)  
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337  
パンフレットをお送り致します。ご連絡をお待ち致します。

### 元氣の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)

事務長 大久保 好枝 (昭和39年卒)  
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

### イマイズミ(宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)  
宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

# 今年成人を迎える卒業生 ご成人おめでとうございます。

情報科学部

**お祝いの言葉。** 新成人の皆さんおめでとうございます。皆さんは「二十歳」という人生の大きな節目を迎えられ、大人としての厳粛な人生の一歩を踏み出しました。満20歳を迎えて、様々な法律上の権利が与えられる同時に、成人としての義務も果たさなければなりません。すなわち、皆さんは、自らの判断と責任において行動すること、つまり独り立ちすることが求められています。

論語に「子曰く、君子は人の美を成す。人の惡を成さず。小人は是に反す」という言葉があります。是は人格が立派な人は、他人の美点や長所を見つけると、それを一層立派にするように援助し、悪い点は成り立たないようにするが、人徳のない人はその反対であるという意味です。

どうか、常に謙虚な心を持ち、感謝の気持ちを忘れることなく、相手のことを敬い、品格のある大人になっていただきたいと願っております。

平成18年度情報科学部 第3学年主任 小林 均  
第3学年主任 若林 貴子



平成18年度卒業時の3学年担任の先生方

**東野観光(株)** (旅のことなら)  
**斎藤操**(昭和37年卒)  
**高梨義久**(平成3年卒)  
 宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

**昭和車輛(株)** (重機の修理・販売)  
 代表取締役 **坂本功樹**(昭和50年卒)  
 宇都宮市上大曾町348 ☎028-624-8553

**作新学院高等学校 P・T・A**  
 会長 **浅川信明**  
 宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

**(有)泉商販** (全国有名味噌特約店)  
 代表取締役 **大木利夫**(昭和35年卒)  
 宇都宮市御幸本町4736-34 ☎028-613-1818

# 物理部2008年世界青少年 発明工夫展(台湾開催)で銅賞

書道部・吹奏楽部も全国・関東上位入賞、社研部紀要発刊

## 文化部

物理部は、第66回全日本学生児童発明くふう展内閣総理大臣賞を得、日本代表として、平成20年度青少年創造性開発育成海外交流台湾派遣団の一員として各國の青年と交流に参加した。



台湾での物理部表彰式

受賞作品は、「視覚障がい者歩行誘導システム」世界15カ国152作品のうち、社会的貢献度の作品部門、機械的に優れる作品部門でそれぞれ銅賞を得、主催国台湾からも特別賞を得た。また、今年度行われた第58回栃木県児童生徒発明工夫展に応募し、「回転窓」「安全な自転車」の作品は金賞、「蒸れない靴」は銀賞、さらに学校団体賞の受賞が決まった。これで本校は5年連続全国大会へ出場となった。また、これらの作品は、宇都宮市主催第1回「宮っこフェスタ」の「夢未来エリヤ」に出展された。

書道部では、第32回毎日全国学生書写書道展「席書の部」において、英進部2年、星朋絵が毎日特別大賞を、総合進学部3年、小林隆紀が毎日大賞を受賞した。毛

筆による学年日本一決定大会と称されるこの大会は、夏休み中に各県で決勝大会が行われ、星は高2で全国1位、小林は高3で全国2位の成績で表彰された。

吹奏楽部では、今年度栃木県吹奏楽コンクールは50回目という節目の大会にあたり、唯一第1回大会から連続50回出場の団体として栃木県吹奏楽連盟から表彰状と記念品を授与された。このことは大変名誉なことで部員、OB・OG、保護者、学校関係者一同大変誇りに感じている。昨年度の創部50周年と併せて2年連続で大きな節目を迎えることができた。今年度の成績は、第50回栃木県吹奏楽コンクール金賞、第14回東関東吹奏楽コンクール金賞、5年連続10回目の受賞であった。



東関東吹奏楽コンクール金賞受賞の吹奏楽部

社会研究部では、『宇都宮の神社』と題する研究紀要を発行した。同部の紀要是、平成13年に発行された『日光杉並木の研究』以来の2冊目。今回の紀要では、その年から6年間にわたって実施した宇都宮市内の神社(280社)調査をもとに、各社の様子や創建年・祭神・現況写真などがA5版149ページにまとめられた。

株式会社  
**RCC**企画装飾  
代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)  
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32  
TEL 028-662-6551㈹ FAX 028-663-3579

金田商会  
代表取締役 金田眞麒(昭和35年卒)  
宇都宮市松原1-5-5 028-622-1846

**藤田勝春法律事務所**  
弁護士 藤田勝春 (昭和35年卒)  
宇都宮市清住3-1-14 028-625-3266

**荒川歯科クリニック**  
理事長 荒川敏明(昭和48年卒)  
宇都宮市西川田本町4-1-3 028-645-5072

# 軟式野球部再試合制し七度目の優勝

ゴルフ・弓道・水泳・ボクシングの各部もインターハイで活躍

## 運動部

軟式野球部は、第53回全国高校軟式野球選手権大会で、再試合の末2年ぶり史上単独最多となる、7度目の優勝を果たした。



選手権大会で7度目の優勝を達成した軟式野球部

23年ぶりとなる決勝戦の再試合は、31日兵庫県明石市明石公園球場で中京高等学校と行われた。作新学院は、1回裏石野晃左翼手の適時二塁打などで1点を先制。しかし、5回表中京に二安打を浴びるなどして同点に追いつかれたが、6回裏山井健一塁手が甘く入った変化球を振り抜き、走者一掃の勝ち越し三塁打を放って勝ち越した。1年間の成果を余すことなく發揮し、大会記録を塗り替えて7度目の頂点に立った。

ゴルフ部の渡辺春希は、第43回知事杯争奪ゴルフ競技大会一般男子の部で、プレーオフを制して初優勝を果たし、第40回大会ジュニアの部以来の知事杯二冠となつた。派手さは無い選手だが、「あきらめないで18番をプレーする」ことを信条に、来年の日本ジュニアのトップ10入りを目指している。また、梅山知宏も、

**合資会社 鱒渕材木店**  
無限責任社員 鱒 渕 貢  
建築部 小牧 英夫(昭和56年卒)  
宇都宮市中央3-15-13 電028-633-3261  
E-mail:masu3261@snow.ucatv.ne.jp/

**元氣の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)**  
理事長 角田 和之  
施設長 角田 充由(平成5年卒)  
宇都宮市幕田町1456-1 電028-655-2611

全国高等学校ゴルフ選手権に出場し、個人3位の成績を収めた。

弓道部では松本祥実が、川越総合運動公園特設弓道場で行われたインターハイにおいて、女子個人の部で優勝を果たした。射詰め競射において最終2人が残ると、的が尺2から8寸へと変わった。1本目から8本目までは的中。9本目2人ともはずす。10本目相手がはずした。松本は、部員の応援を胸に心を落ちさせ、みごとの射抜き優勝を手にした。

水泳部では、メキシコで行われた水泳ジュニア世界選手権大会(2008.7.1~7.16)の男子200Mバタフライで、森洋介が3位入賞を果たした。インターハイにおいても男子200Mバタフライで準優勝を飾った。また、女子の清水咲子は、インターハイの女子400M個人メドレーで決勝に進み健闘した。



水泳ジュニア世界選手権大会での森洋介

ボクシング部では、昨年に引き続き活躍している吉野修一郎選手が、今年のインターハイでも3位に入賞した。吉野は、ロンドンオリンピックへ向けての有望強化選手の指定を受けており、2008年11月29日から11月30日のナショナルチーム合宿参加予定である。

**(株)大貫商店(紙一式)**  
**早乙女ヒロ子(昭和21年卒)**  
宇都宮市二荒町9-3 電028-634-4131

県内屈指の「電子申告推進事務所」  
税理士法人 尾花会計パートナーズ  
代表社員・税理士 尾花一浩(平成元年卒)  
社員・税理士 尾花兼司(平成2年卒)  
〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2  
TEL 0289-62-8345 FAX 0289-62-8346 URL <http://j-obana.tkcnf.com/>